

## I 第33週の発生動向 (2012/8/13~2012/8/19)

1. インフルエンザについては、むつ保健所管内から、迅速診断キットにより A 型 2 人の報告がありました。
2. 手足口病については、東地方+青森市保健所管内では第 21 週から、弘前保健所管内では第 28 週から、五所川原保健所管内では第 31 週から、上十三保健所管内では第 32 週から **警報** が継続しています。

## II 第33週五類感染症定点把握

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点	
小児科 +内科	(85)																			
(85) インフルエンザ												2	0.3	2	0.0	1				
小児科	(74)													27	0.7	6			4	0.5
(74) RSウイルス感染症	4	0.5	4	0.4	5	0.6	1	0.2	13	2.2				6	0.1	2			4	0.5
(75) 咽頭結膜熱	4	0.5	2	0.2										25	0.6	-17			1	0.1
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	0.1	7	0.8	6	0.7			5	0.8	6	1.5	25	0.6	-17			13	1.6	
(77) 感染性胃腸炎	13	1.6	8	0.9	5	0.6	1	0.2	1	0.2	11	2.8	39	1.0	-2			11	1.4	
(78) 水痘	11	1.4			1	0.1	1	0.2	3	0.5			16	0.4	-1			41	5.1	
(79) 手足口病	41	5.1	111	12.3	9	1.0	46	9.2	12	2.0	19	4.8	238	5.8	-61			1	0.1	
(80) 伝染性紅斑	1	0.1					1	0.2					2	0.0	1			2	0.3	
(81) 突発性発疹	2	0.3	3	0.3	1	0.1	1	0.2	8	1.3	1	0.3	16	0.4	3			1	0.1	
(82) 百日咳			1	0.1									1	0.0	-1			21	2.6	
(83) ヘルパンギーナ	21	2.6	28	3.1			11	2.2	13	2.2	2	0.5	75	1.8	-41			1	0.1	
(84) 流行性耳下腺炎	1	0.1	7	0.8							2	0.5	10	0.2	-7			1	0.5	
眼科	(86)																			
(86) 急性出血性結膜炎	1	0.5											1	0.1	1			1	0.5	
(87) 流行性角結膜炎							1	1.0					1	0.1	-4					
(92) クラミジア肺炎															0					
基幹	(93)																			
(93) 細菌性髄膜炎															0					
(95) マイコプラズマ肺炎			3	3.0	4	4.0					4	4.0	11	1.8	9					
(96) 無菌性髄膜炎															0					

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定。

## III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 東地方 1 人、青森市 1 人、弘前 2 人 (2012 年計:275 人)
- (15) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 青森市 2 人、上十三 1 人 (2012 年計:10 人)

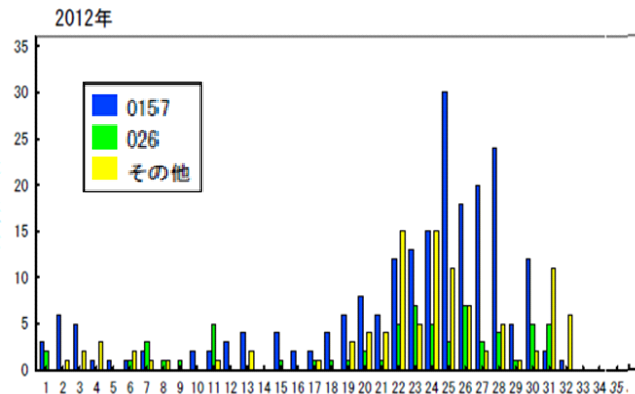
## IV 病原体検出情報

( ) 内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・突発性発疹患者 1 名 (咽頭ぬぐい液、5/18)・・・ヒトヘルペスウイルス 6 型: 弘前 (1)
- ・下気道炎患者 6 名 (鼻汁、5/21~5/25)・・・RSウイルス (RSV): 弘前 (2)、ライノウイルス (HRV): 弘前 (1)、八戸 (1)、ボカウイルス (HBoV): 弘前 (1)、RSV、HRV 及び HBoV: 弘前 (1)



## 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)



TASR  
Toshima Aomori Sanitation Bureau

図 各都道府県市の地方衛生研究所の分離/検出報告 (全国 8/21現在)

腸管出血性大腸菌は、ベロ毒素(VT1、VT2)を産出する大腸菌です。大腸菌は、菌表面の O 抗原(細胞壁由来)と H 抗原(べん毛由来)により分類され、O157 とは O 抗原として 157 番目に発見されたことを意味します。国内の患者から検出される腸管出血性大腸菌の O 抗原による血清型別は、O157 が最も多く、次いで O26、O111 です。

症状は、多くの場合、3~5 日の潜伏期間後に激しい腹痛を伴う水様便の後に著しい血便が見られます。発症者の中には、溶血性尿毒症症候群、脳症等の重篤な合併症を起こし、死に至る場合もあります。

感染は、本菌に汚染された食品からの経口感染と、ヒトからヒトへの糞口感染による二次感染が主です。予防対策は、食品の十分な加熱 (75℃、1 分間以上) です。幼児、高齢者に対しては生肉、加熱不十分な食肉を食べさせないよう注意が必要です。また手洗いの徹底が大切です。

2012 年に国内の患者から検出された菌の O 抗原による型別は、O157 が最も多くなっています (図)。県内では 33 週までに、O157 が 9 人、O26 が 1 人報告されています。また北海道では、O157 の集団発生が報告されています。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）

（掲載内容は最新情報です）単位：人 2012年第14週～第32週

c	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
13	H24.3.26 ~ H24.4.1		梅毒(1人)				
14	H24.4.2 ~ H24.4.8						
15	H24.4.9 ~ H24.4.15			腸管出血性大腸菌感染症1人 急性脳炎1人			
16	H24.4.16 ~ H24.4.22						
17	H24.4.23 ~ H24.4.29						
18	H24.4.30 ~ H24.5.6						
19	H24.5.7 ~ H24.5.13						
20	H24.5.14 ~ H24.5.20	腸管出血性大腸菌感染症1人 E型肝炎1人	つつが虫病1人				
21	H24.5.21 ~ H24.5.27		梅毒1人	つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人		つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人	
22	H24.5.28 ~ H24.6.3			後天性免疫不全症候群1人	つつが虫病1人		
23	H24.6.4 ~ H24.6.10			レジオネラ症1人		つつが虫病1人	
24	H24.6.11 ~ H24.6.17			バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人		つつが虫病1人	
25	H24.6.18 ~ H24.6.24	梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人			
26	H24.6.25 ~ H24.7.1						腸管出血性大腸菌感染症1人
27	H24.7.2 ~ H24.7.8		つつが虫病2人				
28	H24.7.9 ~ H24.7.15	つつが虫病1人					
29	H24.7.16 ~ H24.7.22						
30	H24.7.23 ~ H24.7.29			急性脳炎1人		つつが虫病1人	
31	H24.7.30 ~ H24.8.5	ジアルジア症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		レジオネラ症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
32	H24.8.6 ~ H24.8.12	腸管出血性大腸菌感染症1人					風しん1人

VI 結核(二類全数把握疾患)

単位：人

2012年第14週～第32週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
14	H24.4.2 ~ H24.4.8	1	2	4		3	
15	H24.4.9 ~ H24.4.15		4	1	2	1	
16	H24.4.16 ~ H24.4.22	5	2	4		1	
17	H24.4.23 ~ H24.4.29	3		7		1	
18	H24.4.30 ~ H24.5.6	2	1	7	1		
19	H24.5.7 ~ H24.5.13	3	1				
20	H24.5.14 ~ H24.5.20	1	1	2	1	2	1
21	H24.5.21 ~ H24.5.27	2	1	2	1	2	
22	H24.5.28 ~ H24.6.3	6	1	2		2	
23	H24.6.4 ~ H24.6.10	1	1	4	1	1	
24	H24.6.11 ~ H24.6.17	3		3		1	
25	H24.6.18 ~ H24.6.24	3		3	1	1	
26	H24.6.25 ~ H24.7.1	2		1	1	1	
27	H24.7.2 ~ H24.7.8	1		2	2	2	
28	H24.7.9 ~ H24.7.15		3	7	2	1	
29	H24.7.16 ~ H24.7.22		1	3	2		
30	H24.7.23 ~ H24.7.29		2	2			
31	H24.7.30 ~ H24.8.5			1	1		
32	H24.8.6 ~ H24.8.12	2		2	3	1	

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）

（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

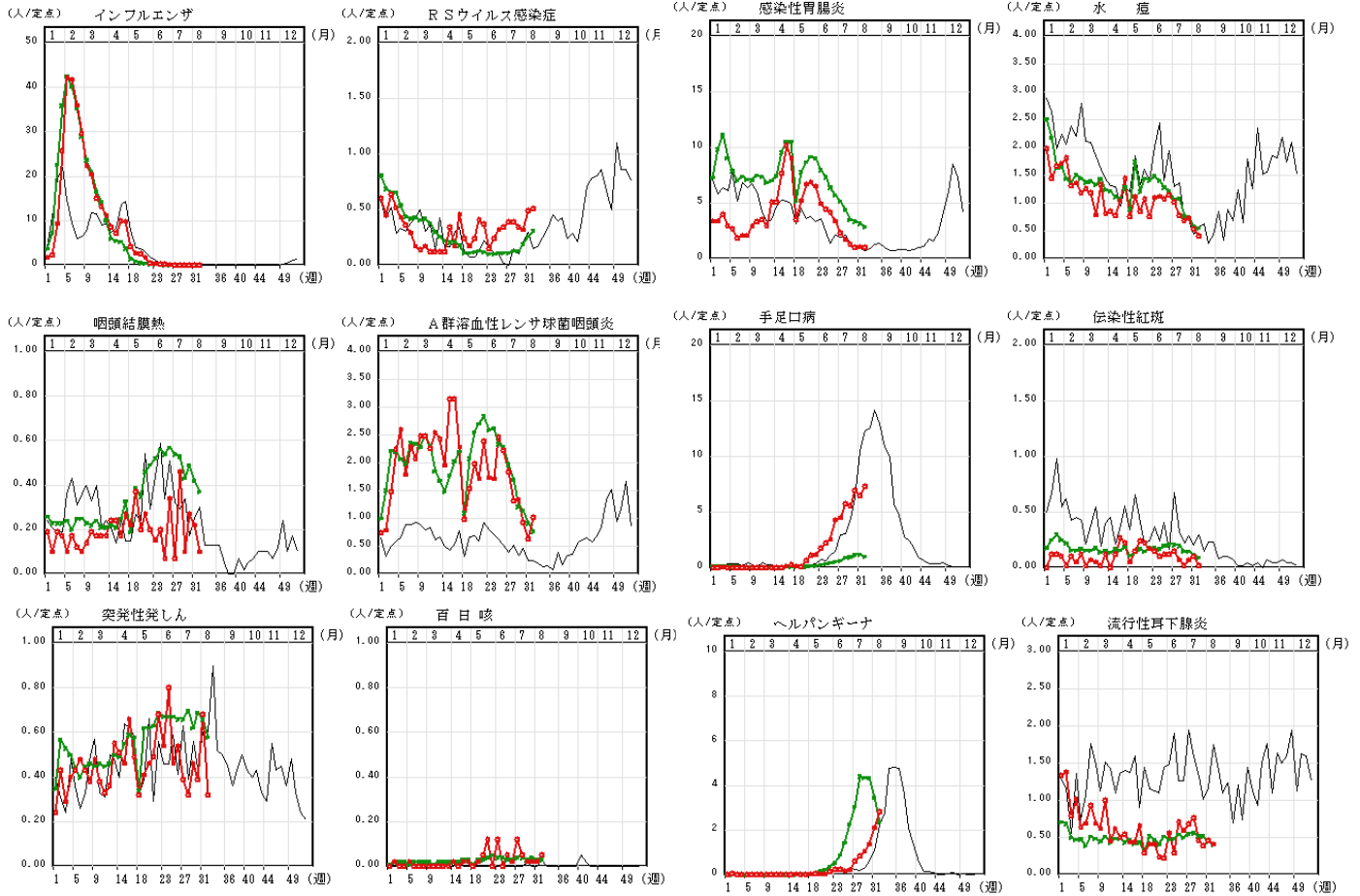
2012年8月21日9時00分集計速報値

	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類		
	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイデス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	
全国	18155	3	128	1971	15	11	83	118	6	5	1	4	195	92	60	3	41	6	517	8	
青森県	271	0	0	10	0	0	1	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	3	0
	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト-ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん							
全国	541	134	249	6	114	164	867	38	7	524	65	54	1193	222							
青森県	2	0	3	0	0	1	3	1	0	3	0	1	1	0							

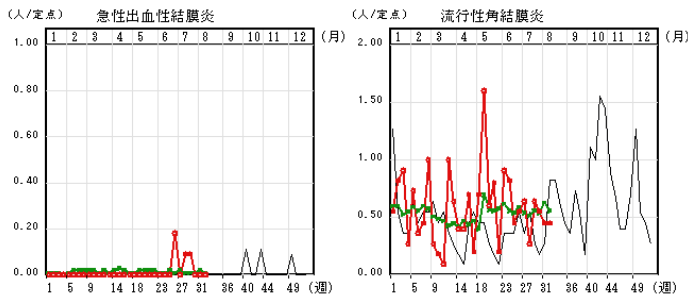
Ⅶ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移  
 グラフの説明

2012年第32週

○—○は2012年青森県、—は2011年青森県、×—×は2012年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 2012年第32週



Ⅹ 基幹定点把握疾患週別推移 2012年第32週

